自然と共生するスマートエコアイランド種子島シンポジウム

## 自然共生社会の実現を目指して

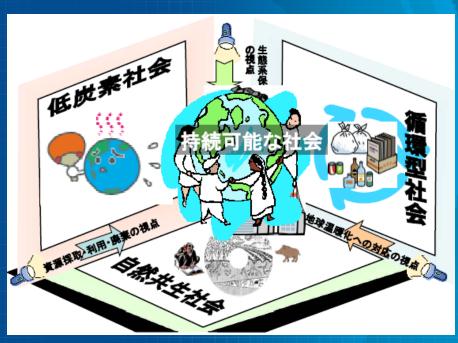
### 武内和彦

国際連合大学上級副学長 東京大学国際高等研究所 サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)機構長・教授

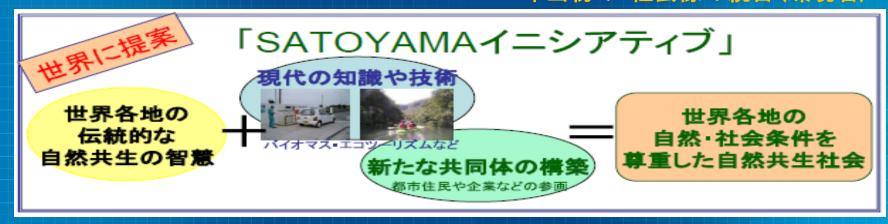
2014年8月2日 (土) 13:00~ホテル種子島コンベンションホール

### 21世紀環境立国戦略と自然共生社会

- 2007年6月「21世紀環境立国戦略」 が第一次安倍内閣で閣議決定される
- 地球温暖化の危機、資源の浪費による 危機、生態系の危機の深刻化を認識
- 低炭素社会、循環型社会、自然共生 社会の統合による「持続可能な社会」
- 自然との共生を図る智慧と伝統を現代 に活かした美しい国づくりを提唱
- ■「SATOYAMAイニシアティブ」を世界に 提案し、自然共生社会実現を目指す



2007年当初の3社会像の統合(環境省)



### SATOYAMAイニシアティブ

- 21世紀環境立国戦略(2007年閣議決定)で、低 炭素社会、循環型社会、自然共生社会の統合 による持続可能な社会を提唱
- 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10) で採択された「愛知目標」の長期目標は「自 然と共生する世界の実現」となる
- 東洋的自然観に立つ自然共生社会の概念には、 先進国の批判もあったが、アフリカなど多く の開発途上国が積極的に支持
- COP10では環境省と国連大学が提唱した SATOYAMAイニシアティブが採択され、 国際パートナーシップ(IPSI)が創設 される
- SATOYAMAイニシアティブは、 生物多様性条約の第二の目的である 「生物資源の持続的利用」の理念を 具体化するもの



SATOYAMAイニシアティブ国際パートナシップ第4回定例会合 (IPSI-4) 2013年9月 於・福井県



↑越前市 白山コウノトリ米水田 白山小学校 →



### 国際生物多様性年と 国連生物多様性の10年

- 2010年12月に石川県金沢市で国際 生物多様性年のクロージングイベント 開催
- 「能登の里山里海」と「トキと共生する 佐渡の里山」を世界農業遺産GIAHS に申請することを公表
- CBD/COP10の勧告を受け、国連総会で「国連生物多様性の10年」
  UNDBが採択される
- UNDBが、2011年から2020年までの 愛知目標(短期目標)達成に向けた マイルストーンに
- 国連生物多様性の10年のキックオフイベントを、2011年12月に再び金沢市で開催、生物多様性に関する「石川宣言」を採択





#### 世界農業遺産

#### (Globally Important Agricultural Heritage System)

- 2002年のヨハネスブルクサミットを契機に FAOが始めたイニシアティブ
- 持続可能な開発に貢献する伝統的な 農業土地利用システムを認定する仕組 み
- 動的な保全の考え方に基づき、生きた システムとして未来につなげていくことが 重要
- 2011年5月に北京で開催されたGIAHS フォーラムで能登と佐渡が正式に世界 農業遺産に認定される
- 2013年5月には、石川県の能登(七尾市)で、登録サイトで初めて世界農業 遺産国際会議(GIAHSフォーラム)を開催







トキと共生する佐渡の里山

新潟県の佐渡地域は、金山の歴史が生み出 した棚田などの水田で、冬期湯水など「生き ものをはぐくむ魔法」とその認証制度を推進 しています。また、農業は、能、鬼太鼓などの 農村文化の発展につながり、佐渡独特の自然 風景、文化、生物多様性を保全しています。



2) 能登の里山里海

石川県の能登地域は、美しい農村風景が見 られ、棚田やため池による里山の景観と、海 女漁、揚げ浜式製塩など里海の資源を活用し た伝統技術が受け継がれています。また、「あ えのこと」やキリコ祭りなど、農業と結びつい

た風習や文化が多く残っています。



6 静岡の茶草場

静岡県の掛川周辺地域は、伝統的な「茶草場 魔法」が営まれています。これは茶園の近く にあるススキなどの草原(茶草場)の乾草(茶 草)を茶園の土づくりに用いるもので、茶の 品質を高めながら同時に半自然草地特有の 生物多様性を保全しています。



の蘇の草原の維持と持続的農業 日本

能本県の阿蘇地域は、千年以上続く「野焼き などの伝統的な草原の管理方法により、木が 生い茂るのを防ぎながら、あか牛の飼育に必 要な草資源を確保するなど持続的な農業の 営みによって雄大な自然景観を維持していま



クヌギ林とため池がつなぐ 国東半島宇佐の農林水産循環

大分県の国東半島宇佐地域は、日本一の原 木乾しいたけ生産や、日本で唯一の水稲作と シチトウイを組み合わせた生産をはじめ、多 様な農林水産業が営まれているシステムで、 これらは日本最大のクヌギ林と、連携するた め池群によって持続的に維持されています。



海抜千mの環境に耐える水稲品 種と巧みなかんがい法によるイ フガオ族の棚田システム



田魚が水田の害虫や雑草を防し だり、代替肥料、食料、収入源に なる2千年前から続くシステム



實化の次とう最増

|300年以上も続く特産品のぶ うが家庭の裏庭で栽培されてい る都市の農業システム



茶の原産地として1800年以上茶 の木を養い、古代の茶道文化が 継承されているシステム



在来種の米が栽培され、伝統的 な米文化が継承されているシス



海抜ゼロメートル地帯に広がる 水田で米等の作物を栽培しなが ら漁業も営むシステム

# **GIAHSの事**

現在25認定サイトのうち、 <u>17サイトがアジアにある</u>





高品質な実をとるため揺木の技 術を用いて植栽される2千年の 歴史を誇る中国カヤ林システム



トン族により千年以上も続く水 田で養魚・養鴨で多彩な農産物 が生産されているシステム



コラブット伝統農業 インド

多数の少数民族が原始的な農 業生活を営み、多種の縮と固有 植物が栽培されているシステム



ワやキビ等が栽培され、中国 古代の農業と草地文化をつなぐ 変機地域営器システム



森林利用と独特なかんがい方式 で持続するハ二族の集落の山腰 に作られた棚田システム



2500年以上受け継がれ現在も 17000家族が取り組む固有のサ

フラン栽培システム



マサイ・ダバド族により先住民の間で古くから伝わる慣習

や伝統知識をもとに営まれる牧畜システム

材木用の樹木やバナナの間で: ヒーや食用作物等多様な作物 が栽培されているシステム



マグリブの厳しい天候の中で何千年も続いているオアシ スで多様な果物や野菜を生産するシステム

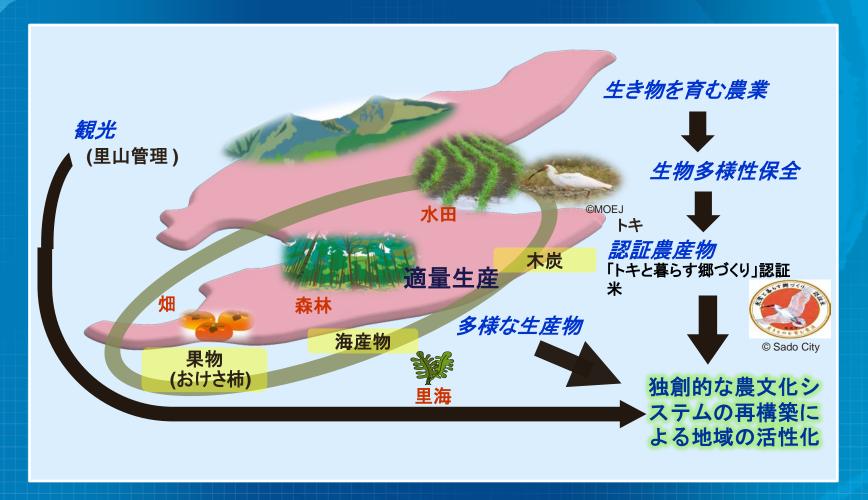






ショが生産されているシステム

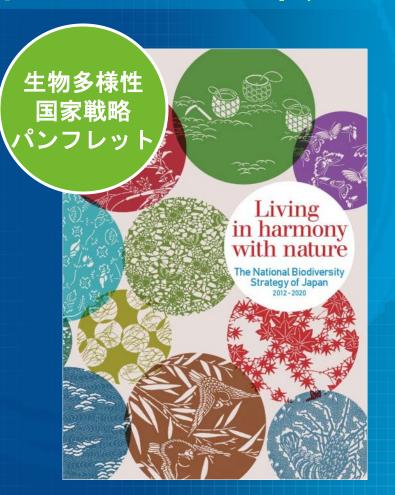
# 高付加価値型の新しいビジネスモデル(佐渡の事例)



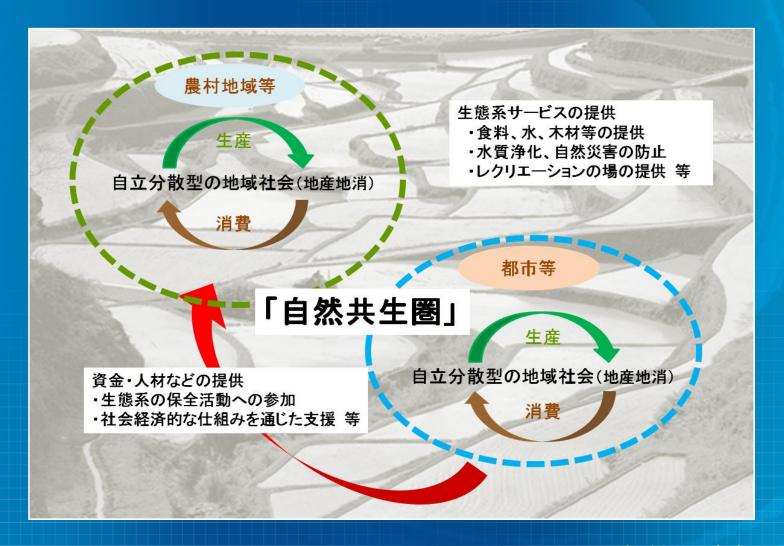
- 生物多様性を育む農林水産業で商品に付加価値をつける
- 地域の様々な恵みをトータルに扱い、マーケットにつなげる
- 農林水産業とグリーン・ブルーツーリズムの相乗効果

### 東日本大震災の発生と 生物多様性国家戦略2012-2020の策定

- CBD/COP10における愛知目標の採択を踏まえて、日本の生物多様性国家戦略の見直しに着手
- 東日本大震災の発生は、生物多様性 国家戦略の見直しにも大きな影響をも たらす
- 恵みであると同時に脅威でもある日本 の自然に対し、感謝と畏敬の心で接す ることを認識
- 国家戦略のサブタイトルを「豊かな自然 共生社会の実現に向けたロードマップ」 とする
- 2012年9月に閣議決定され、翌10月に インドのハイデラバードで開催された CBD/COP11で公表



# 生態系サービスの恩恵と人間の福利自然共生圏の提案

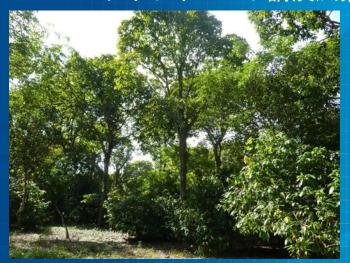


## レジリエントな自然共生社会 の構築を提案

- リオ+20国内準備委員会で、東日本 大震災の経験を世界と共有する意義 を認識
- リオ+20のサイドイベントでは、自然共生社会の実現がグリーン経済に貢献することを主張
- アマゾンのトメアスで日系ブラジル人が 営むアグロフォレストリーは、自然共生 社会を通じたグリーン経済のモデル
- レジリエンス、ニューコモンズ、ニュービジネスモデルが、自然共生社会実現のキーワードに
- 長期的な環境変動(気候変動等)と 短期的な環境変動(自然災害等)の 両面に適した地域のレジリエンス強化 戦略の必要性



RIO+20 サイドイベント講演風景



アグロフォレストリー (ブラジルナッツとカカオの林)

### レジリエントな自然共生社会の取り組み

- 生産物の単純化と経営規模の大規模 化を前提とした農林水産業は生物多 様性保全と調和しない
- 生物多様性を保全しつつ持続的生物 生産を目指す社会・生態学的生産ランドスケープの構築・再構築が課題
- 生物多様性と生態系サービスを生か した生物生産の方が、気候変動や経 済変動に対してよりレジリエントな 仕組み
- モザイク生態系から構成される社会・生態学的生産ランドスケープの管理には新たなコモンズの創生が重要
- 現代社会のなかで競争力を得るため には、自然資本に依拠した高付加価 値型の新しいビジネスモデルが必要



茶林とプランテーションの比較(中国、雲南省)



アグロフォレストリーのビジネスモデル(ブラジル)

# 三陸復興国立公園の指定と自然共生社会の構築

- 陸中海岸国立公園を拡充して三陸海 岸国立公園とする従来の構想を大きく 見直し
- 2013年3月中央環境審議会自然環境部会が「三陸復興国立公園」の指定を答申、5月に設立記念式典を八戸市で開催
- 本・里・川・海のつらなりに注目し、その 連環の再生を、国立公園の大きなテー マに
- 里山・里海フィールドミュージアムや、総 延長約700kmにおよぶ「みちのく潮風 トレイル」を整備
- 三陸ジオバーク構想とも連携し、震災・ 津波の経験を次世代に引き継ぐことが 重要

国立公園 構想図



▶ 田野畑村のサッパ船アドベンチャー



### 九州・沖縄における 国立公園拡充に向けた取組

- 2012年3月、霧島屋久国立公園を 再編し、霧島・錦江湾国立公園を 拡充
- 錦江湾の公園区域の拡大は、海域 の10%を保護区域にすることを目指 す愛知目標の実現にも貢献
- 慶良間諸島周辺の海域(珊瑚礁) を中心に国立公園に指定(新規指 定は釧路湿原以来27年ぶり)
- 奄美群島を近い将来国立公園に指 定し、奄美・琉球の世界自然遺産 登録を目指す
- 原生的な自然の保護とともに、外来 種対策(とくにマングース駆除)が、施 策の焦点に



写真提供:環境省



